



平成 29 年 6 月 7 日
愛知県立大学基金運営委員会
担当委員：副学長 神山 齊己
事務局：県大総務課 谷口・榊原
電 話：0561-76-8811

「愛知県立大学基金」の創設

国際性や創造性を持ち実践力に富んだ人材を
愛知県や中部地方へ輩出するために

愛知県立大学は、2016 年に創立 70 周年を迎えました。これを機に、教育研究機関としてさらなる持続的発展のため、**愛知県立大学基金**を創設いたしました。

愛知県立大学基金の詳細や寄付手順については愛知県立大学ウェブサイト内、**愛知県立大学基金** ご支援のお願いをご覧ください。

1. 受付開始日時

平成 29 年 6 月 1 日（木）

2. 受付方法

○インターネットによるクレジットカード支払い（F・REGI 決済サービスによる）

○金融機関でのお振込み

※愛知県立大学のウェブサイト内「愛知県立大学基金 ご支援のお願い」をご確認ください。

3. 基金活用の目的

愛知県立大学基金の趣旨に基づき下記の事業に活用させていただきます。

【学生支援事業】

○給付型奨学金の創設 ○グローバル人材育成 ○キャリアセミナーの充実

【教育研究充実事業】

○次世代ロボット研究所などの各研究所支援

○大学図書館の蔵書拡充 ○認定看護師養成課程の拡充

【国際交流事業】

【地域貢献事業】

【環境整備事業】

愛知県立大学基金 ご支援のお願い（愛知県立大学のウェブサイト内）



URL <http://www.aichi-pu.ac.jp/about/found.html>

「愛知県立大学基金」 ご支援のお願い

愛知県立大学は、戦後間もない1947年に前身である愛知県立女子専門学校として設立されて以来、2016年に創立70周年を迎えました。この間、1953年に県立女子短期大学、1957年に県立女子大学、1966年には男女共学の県立大学へと発展してきました。1998年には名古屋市瑞穂区高田町から長久手にキャンパスを移転し、2007年には法人化、2009年には県立看護大学との統合を行い、5学部10学科3専攻と大学院4研究科で構成される大規模な公立大学として発展を遂げました。この間、多くの優秀な卒業生を社会に送り出し、中部地方の人材育成教育、発展に大きく貢献してきたものと自負しております。

本学は、2012年には文部科学省による「グローバル人材育成推進事業」の採択を受け、iCoToBa(多言語学習センター)の開設をはじめ、外国語学習支援と異文化理解、国際交流支援の活動を行ってきました。さらに、2013年には教養教育センターを開設し、教養教育の充実、各学部専門教育の個性化・特色化を図ってきました。2016年には、次世代ロボット研究所と通訳翻訳研究所を設置しました。

一方、本学を含め、日本の大学は、18歳人口の減に伴う厳しい大学間競争の時代を迎えています。こうした時代環境の中で、本学は、今後も優れた研究に裏打ちされた良質の教育を通じて、新しいグローバル時代を切り拓くという強い意志とチャレンジ精神をもった学生を育成するとともに、地域に貢献していきます。一方、こうした事業を継続的に、積極的に進め、実践していくためには、少しでも多くの自主的な活動財源の確保、皆さまのご支援が不可欠です。

2016年、本学は創立70周年を迎えました。これを機に、愛知県ならびに中部地域への人材輩出をはじめ、教育研究機関としてさらなる持続的発展のため、愛知県立大学の新たな事業として「愛知県立大学基金」を創設することと致しました。

大変厳しい経済情勢ではありますが、本学の人材育成事業の充実を図るため、本趣旨を御理解いただき、誠に恐縮ではありますが、格別のご支援をいただきますよう心からお願い申し上げます。



学長 高島忠義

税法上の優遇措置等

「愛知県立大学基金」へのご寄附は、税法上の優遇措置が受けられます。個人からのご寄附については、所得税の優遇措置として「所得控除」を、個人住民税優遇措置として「税額控除」が受けられます。

個人からのご寄附

1 所得税の優遇措置

寄附された年の所得金額から控除を受けることができます。所得金額に対して寄附金額が大きい場合、減税効果が大きくなります。

寄附金控除額＝寄附金合計－2,000円

※控除の対象となる寄附金額は、総所得金額等の40%が上限です。

2 個人住民税(県民税・市町村民税)の寄附金税額控除

寄附された翌年の1月1日現在、愛知県内に住所を有する方は、寄附された翌年の個人県民税から控除を受けることができます。また、お住まいの市町村が本学を寄附控除の対象として指定している場合、個人市町村税の控除を受けられます。

税額控除額＝(寄附金合計－2,000円)×(4%【県民税】+6%【市町村税】)

※控除の対象となる寄附金額は、総所得金額等の30%が上限です。

※名古屋市にお住まいの方は、2017年度税制改正に伴い個人県民税からの控除率が2%(従来は4%)になります。

※市町村税はお住まいの市町村の指定がある場合のみ。

※詳細は愛知県庁のWebサイト「条例指定寄付金の取扱について」をご覧ください。

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/zeimu/0000021605.html>

法人等からのご寄附

全額損金算入が可能です。

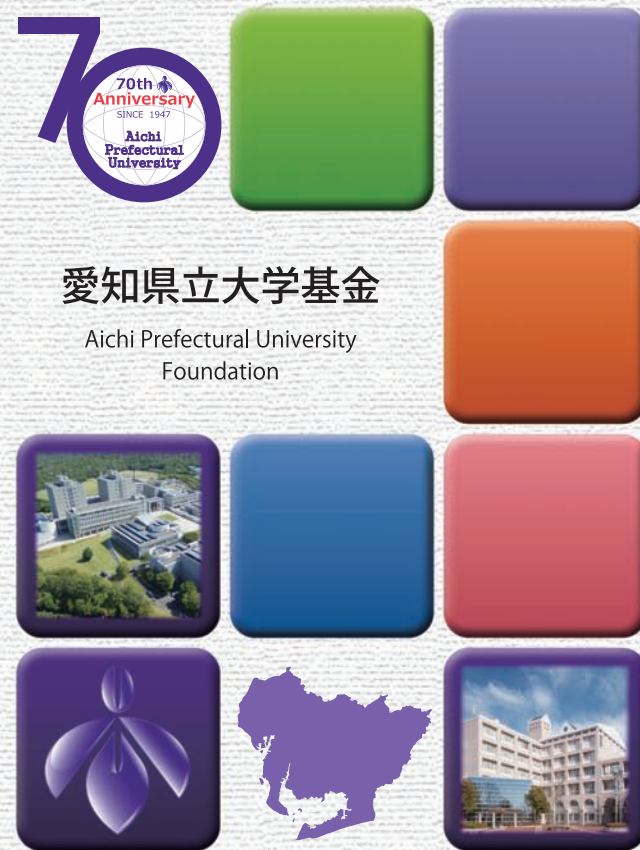
優遇措置を受ける手続き

- ご入金確認後、感謝状と「寄附金受領証明書」を送付させていただきます。お届けまでに2週間前後かかりますのでご了承ください。
- 確定申告期間に「寄附金受領証明書」を添えて税務署に申告してください。



愛知県立大学
Aichi Prefectural University

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522番3 TEL 0561-76-8811
<http://www.aichi-pu.ac.jp/>



【目的】

愛知県立大学の創立70周年を機に、学内外から寄付を募り、学生支援、教育研究、国際交流及び地域貢献に関する事業の活性化を図るとともに、教育研究環境を整備・充実させ、優れた人材の養成に資することを目的とする。

【事業】

皆様から頂いた寄附は、下記事業に活用致します。

- ☐ 学生支援事業
- ☐ 教育研究の充実のための事業
- ☐ 国際交流事業
- ☐ 地域貢献事業
- ☐ 教育研究環境の整備事業
- ☐ 全般事業

【対象】

基金の趣旨にご賛同くださる方なら、どなたでもご寄附頂けます。

【基金の管理運営】

皆様から頂いたご寄附は「愛知県立大学基金運営委員会」において、適切に管理運営致します。透明性確保のため、管理運営の状況をホームページ等で公開致します。

【個人情報の保護】

本基金のためにご提供頂いた個人情報は、寄附金収受業務及び寄附募集に関する業務以外には使用致しません。

【謝意】

- ☐ ご寄附頂いた方に感謝状を贈呈するとともに、ご芳名を本学ホームページ等でご紹介させていただきます（公開をご希望されない方は掲載いたしません）。
- ☐ 大学行事のご案内・ご招待等
- ☐ 一定額以上のご寄附については、感謝状や記念品を贈呈します。

ご寄附の方法

□基金へのご寄附について

- ◆個人 1口 1,000円
(何口でもお申込み頂けます。1口未満でもありがたく頂戴致します。)
- ◆法人 特に定めておりません。

□インターネットからのご寄附(2017年4月より受付開始)

クレジットカード決済によりご寄附頂けます。
詳細は、本学Webサイトをご覧ください。
<http://www.aichi-pu.ac.jp/about/found/>

□金融機関窓口からの振込の場合

振込案内をお送りいたしますので、基金事務局(県大総務課)までご連絡下さい。

基金事務局(県大総務課)

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522番3
TEL: 0561-76-8811 FAX: 0561-64-1101
E-mail: kendai_soumu@pu.aichi-pu.ac.jp

寄附の使い道

愛知県立大学は、優れた研究に裏打ちされた良質の教育を通じて、「豊かな人間性と高い知性を備え、かつ、国際性、創造性及び実践力に富む有為な人材の育成」に努めてきました。また、本学は、地域における「知の拠点」として、地域社会の発展に貢献してきました。今後も、本学は、これから10年間の社会的変化を見据えつつ、新しいグローバル時代を切り拓くという強い意志とチャレンジ精神を持った学生を育成するとともに、地域の課題解決に貢献します。

学生支援事業

学生の経済的支援のための奨学金給付、iCoToBaを活用したグローバル人材の育成、キャリアガイダンス・セミナーなどのキャリア支援の充実などを進めます。

■iCoToBa(多言語学習センター)

「グローバル実践教育事業」を全学的に推進することによって、県内の企業、教育、福祉、看護、地方行政等の分野において必要とされる異文化コミュニケーション能力を養成し、グローバルな課題の発見と解決に貢献する専門職人材を育成します。



■教養教育センター

アクティブラーニング授業の拡充、ネイティブ教員による教養英語教育体制の強化による英語コミュニケーション能力の充実、教養英語相談室の活用、キャリア形成科目の充実などを進めます。



国際交流事業

全学部の学生の留学促進、留学先での海外インターンシップの推進、受け入れ留学生の県内就職支援の強化、受け入れ留学生との異文化交流促進、自治体と連携した国際交流事業の企画・実施などを進めます。



教育研究の充実のための事業

学内外との共同研究の推進を図り、研究成果を学内で活用するとともに、広く社会に還元することを目的として設置された6つの研究所、

- 多文化共生研究所 ●文字文化財研究所
 - 生涯発達研究所 ●情報科学共同研究所
 - 通訳翻訳研究所 ●次世代ロボット研究所
- の活動に生かします。

■次世代ロボット研究所

産学官共同研究をはじめとしたロボットの基礎研究・応用研究、共同研究の相談・技術相談・技術移転、ロボカップなどのイベントの開催支援、技術セミナー開催などロボット技術の広報・普及に関する事業を進めます。



■通訳翻訳研究所

通訳翻訳の教育研究の充実と通訳者・翻訳者の育成、実務経験豊かな講師による講演会や研究会の開催、言語学講座の開講、支援テクノロジーの研究・開発、教材作成、学内グローバル化の支援などを進めます。

■キャンパス環境整備

老朽化した施設の改修、新たな施設の整備などの事業を通じて、在学生がより良い教育・研究設備で学べるキャンパス環境の整備を進めます。

■地域貢献事業

地域のニーズを把握する「総合相談窓口」の設置、研究成果の積極的な公表と地域社会への還元、高等学校等との連携強化、地元産業界との連携などを進めます。

歴史ある愛知県立大学



▲愛知県立女子専門学校
(1947)

▼愛知県立女子短期大学
(愛知女子短期大学)(1950)



◀愛知県立女子大学
愛知県立女子短期大学
(1957)



▲愛知県立大学・愛知県立女子短期大学
(1966)



▼愛知県立大学長久手キャンパス
(2016)



◀愛知県立大学山守キャンパス
(1968)